

国重要文化財「旧関川家住宅」

(旧関川家住宅民家資料館)

保存修理現場公開 見学者募集!

普段は見られない文化財の保存修理現場、茅葺の状況を間近で見学してみませんか。

対象 小学3年生以上（小学生は保護者同伴）

日時 11月21日（土）計3回実施

① 9時～10時10分 ② 10時30分～11時40分

③ 13時10分～14時20分

場所 旧関川家住宅（一宮中町3丁目11-59）

定員 各回先着30人程度

申し込み方法 電話受付のみ 10月7日（水）～11月5日（木）

※ 10月13日（火）・19日（月）・26日（月）・11月4日（水）を除く

ほか ・現場ではヘルメットを着用します ※ 高知市で準備します

・車でお越しの方は申し込み時にご相談ください

問い合わせ先 民権・文化財課 ☎832-7277



◎保存修理工事の概要

旧関川家住宅は、主屋、表門、道具倉、米倉の4棟と、水屋、裏門を含む宅地全体が重要文化財に指定されています。

昭和52年に大規模な修理が行われ、その後も数回の修理を経て現在に至りますが、近年の台風などの影響で茅葺屋根や瓦屋根、漆喰壁などが破損し、傷みが目立つようになっていました。そのため、国からの補助を受け、令和5年2月から令和10年3月の予定で保存修理や防災設備工事等を行っています。

◎文化財建造物の保存修理

先人達の記憶や歴史を後世に受け継いでいくことが大切な目的となっています。建物は建築時から常に風雨に晒され、傷みが進んでいくため、日常的な管理や定期的な修理が必要不可欠です。調査を行い、部材等を可能な限り残し、専門の職人たちの手により修復を行っています。